

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和5年度第3回西脇市就学前教育・保育の質の向上推進委員会
開催日時	令和6年1月31日(水) 午後3時～5時
開催場所	市役所 中会議室
出席委員の氏名又は人数（敬称略）	瀧川光治、鈴木正敏、松尾寛子、閑念勝代、高田祐久子
欠席委員の氏名又は人数（敬称略）	—
出席職員の職・氏名又は人数	教育長 遠藤一博 教育創造部長 足立英則 学校教育課学校教育担当主幹 兼 教育研究室長 宮下晋一  幼保連携課長 伊藤宏明 幼児教育センター長 橋本恭代 幼保連携課（幼児教育センター）小林木綿子 幼保連携課（幼児教育センター）西村麻衣子 幼保連携課（幼児教育センター）前田玲佳
公開・非公開の別	非公開
非公開の理由	個人情報に配慮するため
協議又は協議事項	(1) 第2回視察訪問について(報告) (2) 今年度事業の評価報告について (3) その他
会議の記録（概要）	
発言者	内 容
事務局	1 開会
教育長	2 あいさつ
事務局	(資料確認) ここからの進行は、委員長にお願いします。
委員長	3 第2回視察訪問について(報告) 議事の進行が円滑に進むようご協力お願いします。では会議次第に

事務局	<p>従い議事に入る。</p> <p>事務局説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1「視察訪問資料（各園）次年度に向けての取組の方策」</li> <li>・資料2「令和5年度西脇市就学前教育推進事業視察訪問（2回目）」</li> </ul>
委員長	<p>それでは各委員から訪問した園の取組の状況等の報告をお願いします。</p>
各委員	<p>園①</p> <p>保育の営みは環境を通して行うことが重要であり、基本である。子どもの主体的な活動をどのように促していくのか。また、子どもの発達に合わせて、どのような経験を積み重ねていけばよいか各園で理解して、その園なりの工夫をしながら実施していくことが大事だ。</p> <p>この園では、0歳、1歳からすでに子ども達の主体的な遊び、主体的な活動がなされている。子ども達の生き生きとした様子が見てとれる。定番のままごと遊びの環境があり、ままごとで遊ぶことを通して自分が生活上で見ていること、経験していることをイメージしながら再現して遊んでいる。そのための環境を一生懸命用意されていた。</p> <p>2歳児の後期には、子ども達は鍋やフライパンにいろいろな物を載せて『炒める』『煮る』という料理を作る工程を楽しんでいる姿があった。だからこそ料理を作る工程が出てくるような絵本を置いてみてはと提案した。2歳児クラスの11月頃は、4月生まれの子は3歳半を過ぎているので、お話の世界を楽しんで遊ぶことができるようになってくる。そのため、お話を楽しむようなこともしてよいのではと提案した。</p> <p>サーキット遊びも積極的にされている。子どもは体を十分に動かすことで、身体的な運動発達をして将来につながる。0～2歳で丁寧に積み重ねてもらえたらと思う。ただ、2歳ぐらいになると、サーキット遊びの中で、自分がしたいところだけを繰り返し行う子がいたり、自分のペースで全てをやりたい子がいたりするので、どうしてもぶつかることがある。1ヶ所一方向のルールを決めるだけでなく、遊びの場を分割する方法もあると助言した。</p> <p>3歳児は、低月齢児が多いクラスである。前期に高月齢児が多い</p>

クラス運営の仕方と、低月齢児が多いクラス運営の仕方とは、同じ3歳児クラスでも違いがあるので、急ぎすぎずに2.5歳児クラスぐらいのつもりで保育をしたらどうか、従来経験値としてある3歳児として保育するとどうしてもずれてしまうと話をした。後期はそこを押さえて保育されていたので、どの子も生き生きして、発達に合わせた形で遊んでいたと思う。

4歳児クラスは、前期の視察時に話し合いを取り入れていたが、約10分間話をしていて、小学校でも、10分間子ども同士が何かについて話し合うのはしんどいこと。テーマが明確であれば話が円滑に進むこともあるかと思うが、「10分間ぐらい話をするが、なかなかまとまらない」という話があったので、4歳児の言葉の発達から考えたときに、今はそこまで無理しなくてもよいという話をした。むしろ子ども達の話を受け止めながらつないでいくような関わり方をしたらよいのではという話をした。

5歳児は、お化け屋敷でいろいろな仕掛けを考えて一生懸命作っていた。10の姿で言うと協同性や思考力の芽生え、豊かな感性と表現等の姿が育ってきている。また子どもたちの意見を吸い上げることで、自分たちで知恵を働かせてやっていこうとする姿が育ってきているので、安心して小学校に結びついていくのではと伝えた。このように保育の質としては、かなり良い保育をされていると思った。

## 園②

この園は自分達で園内研修をするなど、立ち止まることなく前進し続け保育の質を高めようとされている。その中でも悩みはあるが、初歩的なレベルというよりある程度、保育のことが分かっていたからこその悩みだと思う。

0・1歳児では、段ボールの坂で試したり、ままごとも皿に乗せてみたりしていた。試してみたりやってみたりできる遊びになるように工夫されている。

2歳児は、6月にトンネルを使った遊びが面白いと思いながら見せてもらったが、子どもたちがいろいろな遊びを繰り返し広げていけるような環境を用意されていた。11月は、「子ども同士でつながり合って遊ぶことでできてきた」と言われた。月齢的に2歳後半から3歳に近づいてくると2語文、3語文から多語文になり言語発達が著しく増大する。そのため関わり合うということが増えてきたのではと

伝えた。

3歳児の先生には、前期に、一般的な幼稚園では3歳児から入園することが多いので、3歳児の1学期は、まず好きな遊びを見つける段階。焦らずに考えてみたらどうかという話をした。そうすると徐々に子どもをしっかりと見ることが意識化されるので、そのための環境作りを工夫していった様子があった。後期になるとアイドルになる等、子ども達が生き生きと遊んでいる姿が見られた。

4歳児クラスは、遊びの振り返りをみんなの前で発表することを意識してやりたいと思っているのであれば、お店屋さんごっこの具体的な物の前で一つ一つ振り返っていくと良いのではと話した。言語的に共通のイメージを持ちやすいので、実物の前で振り返った方が良いという話をした。

5歳児は、今の時期としてはよい感じだった。子ども達が自分でいろいろなことをイメージしながら遊んでいた。おはじきのような、見立てて遊べる物を十分に用意し、おはじきをフライパンに入れ、箸でつまんで炒めてひっくり返して遊んでいた。遊びを通して子ども達が自分なりのイメージを働かせることは、想像力や空想力につながっていく。そんなことが十分に育ってきていると思う。気をつけないといけないのは、つながり合って遊ぶということ。小学校に行くと友達関係を自分で作っていかないといけない。年長の最後の時期に改めてつながりということはどう捉えていくのかを考えてほしいと思う。個人的見解だが、交友関係が広がるような雑談ができる力をつけていくことも大事だと思っている。

ままごとで料理を作る遊びにこだわるのではなく、遊びの中で話が広がっていくような子が育っていくと良いと思う。

### 園③

今年度は公開保育があり合計4回伺ったが、そのたびに進化している状況だった。

0、1歳クラスでは、足踏みマットについている棒状の物に乗って遊んだり、上から風船をぶら下げて背伸びしたりと身体的な発達、運動発達を促すような遊びがあった。ただ、西脇市に限らないが、0～2歳児の環境として、自然物や自然にどう触れるかが不足しがちだ。幼児クラスだと今の時期に例えばヒヤシンスを育てたりするが、0～2歳児は部屋の中で植物に触れる機会が少ないのが実情だと思う。担任の先生は関心を持っているが、悩まれていたの

で、棚にニンジンや大根の水栽培を置くことや、落ち葉に触れて遊ぶことをすると良いのではとアドバイスした。

3～5歳では後期に伺った時も、どの子も園庭や室内で一生懸命夢中になって遊んでいる様子が見られた。3歳児クラスでは、2歳児クラスの高月齢児の遊びと3歳児の低月齢児の遊びは似たような傾向があるので、情報交換をしながらすると良いことを伝えた。これはどの保育現場でも起こり得ることだが、3歳児クラスの中で高月齢の子に合わせて保育をしていくと低月齢の子が置いてきぼりになったり、経験が浅くなったりするということがあるので、2歳児クラスの高月齢の子たちはどんな遊びをしているのか、情報共有しながらやってみてほしいと伝えた。

この園は造形的な活動を熱心にされていて、自分達で研修をされている。そのためイマジネーションする力や、クリエイトする力が4、5歳ぐらいになると育っていることを見て取ることができた。

5歳児クラスで、クリスマスのツリーを毛糸でグルグル巻いて作っているが、緻密に巻く手先の器用さが育ってきている。1人で一つ作って終わりではなく、何回も何回もチャレンジして作る中で、緻密に巻くことができる子が育っている。言い換えれば、自分がやりたいと思ったことに対して集中力が高まっている姿でもある。

『幼児期の集中力』ということ考えた時に、きちんと座って話を聞く『集中力』ではなく、一つの物事にじっくり取り組んでいくための『集中していく力』と捉えていくと良いと思う。そのような視点から改めて年長児の育ちを見たときに、小学校に円滑に進んでいくだけの力が育ってきていると思う。

私が伺った3園は毎年バージョンアップしているのが見て取れる。この1年の中でも前期の視察訪問から、自分たちで考えて改善している姿が見受けられた。

#### 園④

前期の訪問で0歳児は個々のペースに合わせてすると良いので、担当制にした方がよいのではと伝えていた。後期は、「手作り玩具を増やしたい」ということだったので、4、5歳児に作ることを頼んでみてもよいと伝えた。

1歳児は、成長してきて『なりきる』ことができるようになってきたので、もう少しコーナー的なものを作ってみてはどうかと助言した。全体的に部屋に何もない感じで、もう少し道具や玩具が増え

ると良くなると思った。

2歳児は、6月は遊びが定着しない姿も見られた。ままごとは保育者が遊びに入り、見本を見せないと遊びきれないところがあると話した。11月には、大分遊べるようになってきたが、コーナーが混在していたのでそこを切り分けることと、保育室の真ん中が空いていてそこを走ってしまうので、少し曲げたりコーナーを作ったりしてみるように伝えた。走ることが好きならもっと走るとよいが、ただ走るだけではなくピタッと止まることも取り入れると自己調整力がつくと伝えた。

3歳児は2クラスのうち1クラスは担任が1年目だったので、協力し合って、見て学ぶようお願いしていた。担任の声も大きくなり、良くなっていたので良かったと思っている。ただ、イメージをもって遊ぶ環境をもう少し充実させると良いと伝えた。

4歳児は、いろいろなコーナーがあり、すごく盛り上がっていたが、ブロックコーナーを発展させたいと話した。みんなで見たり褒めたりすることで、つながりや遊びにストーリーができるので、実践してみてもと伝えた。お店屋さんごっこはかなり発展していたので、良かったと思っている。

5歳児は活発な子が多いこともあり、前期にかっちりした保育がされていたので気になっていたが、後期には、気になることが多く落ち着けなかった子が割と落ち着いていたので、一安心した。個々の特性や思いを受けとめることが少しできていたと思う。

もう一つのクラスは、担任が子ども同士で相談して発展させたいと願っていた。戸外でルールのある遊びをしているので、ルールについて、みんなで話し合うことをしてほしいと思った。それをしておくと、小学校に行った時に議論ができ、学習も進む。他学年と時間をずらして園庭を使い、クラス活動として、自分たちの学年だけで話し合いを深めることをしていくよう助言した。

#### 園⑤

0歳児の環境がすごく落ち着いていて、集中する姿が見られた。ただ起伏がないので、前期にコーナーやパーテーションを置いて、伝い歩きができる子がかまり立ちするようにしてほしいと伝えていた。後期はそのパーテーションが高かったのもう少し低めで、ダンボール等で作った方が良いと伝えた。今から立って歩くようになるので、パーテーションを作っても使わないかもしれない

が、オープンすぎる環境だと子どもが安心できないので、パーティーションで仕切り安心できる環境を作ってほしいと伝えた。

1歳児は、前期に視覚的に優位な子たちは気になる物があるとそこに行ってしまうことがあるので、気になる物には布を掛けておくと良いと伝えた。後期はよくしゃべる子が増えてきたので、玩具はちょっとレベルが高いものを出した方が良いと話した。

2歳児にとってはおんぶ紐がちょうど良い。コーナー作りは、見せる収納や掛ける収納等、壁を使ったら面白いかもしれないと言った。後期に行くときちょっと部屋が変わっていた。また、「カウントダウンしないとなかなか動けない子がいる。『カウントダウン』はだめでしょうか」という質問には、先生も子どもも納得できる理由があればよいのではと答えた。子どものやる気に火がつくのは時間がかかる。もう少し大きくなるともう少しやる気が出てきたり、リズムがついてきたりするるのでそんなに心配しないでくださいと伝えた。

3歳児は、ままごとでふわふわボールやチェーンを使うと、手首を使って回せるという話をした。後期は、焼きそばを作って楽しんでいた。2クラスあるが、片方のクラスがにぎやかで元気で、すぐ恐竜になりたがると聞いた。2つのクラスの個性を合体し、仲良くできたら良い。

4歳児は作って遊ぶことを楽しんでいたが、遊びを続けたり、発展させたりすることが少し難しい。自分がしたこと、思うこと等を先生に話を聞いてもらって振り返りをするとスキルアップするので、そこはアドバイスをした。

5歳児は、前期は実験的なことを頑張っていたが、グループで話し合うことは少なく、先生が指導してしまうので、なるべく少人数のグループでした方が良いと伝えた。『先生が話を聞く』『お互いに聞き合う』ということ頑張りたいと思っている。

子どもが相手の気持ちに気づくということは難しい。ペープサートを使用するなどして、劇化、ドラマ化すると少し人の気持ちが分かるのではないか。言葉も発達し、人間関係も良くなるので、取り入れてほしいと伝えた。5歳児は自立しているので、大丈夫だと思うが、もう一步深まると良い。せっかく良い環境と先生達なので、頑張れるのではないかと思う。

この事業が始まった頃は園による差がありいろいろだと思ってい

たが、2巡目になるとどの園もすごく頑張っているのがわかった。昨年度ぐらいから先生個人の頑張ろうという気持ちや、やってみたい気持ちの個々の差が少し見え隠れするようになった。

今年少し感じたのは、各先生ができるレベルのことはすごく頑張っておられるが、園全体の何となくの約束事が少し足かせになっている部分があるのではと感じた。

#### 園⑥

前期は0歳児が入園していなかったため、0歳担任の先生が、1歳児クラスもサポートしておられた。後期は7月から入園の0歳児が複数名おり、一生懸命されていた。0歳児の中に少し発達が気になる子がいたので、体を動かして、遊ぶことを提案した。手押し車を押すと歩くことができるので、もう少し歩くことを楽しませてあげるよいのではと伝えると、早速その日のうちに広い廊下で、カタカタと押しながら遊んでいた。廊下なども使うとよいのではと話した。

1歳児は、前期は0歳児の先生が1歳児クラスにサポートに入っていたので人数的な不足感はなかったが、後期は人手が足りないと先生方がすごく困っておられた。先生方のレベルではなく、園全体で考えていかないといけないことなので、給食の時の合同保育や職員配置等、全体で考えていかれたらよいと話した。

2歳児は、前期の時にはままごとコーナーを出しっ放しの方が良いと言うとその場を出してこられて、後期は出しっ放しにしてあった。

3歳児は、前期は人形が7体あり、多すぎるので他クラスにあげてはどうかと話した。また、人形の扱い方も布団と枕とベッドのようなものを作ると綺麗に片づけてくれると伝えていたら後期には人形の数は減り片づけも早速実践されていた。

4歳児は、女児が数人集まって遊んでいる様子があった。保育者が舞台、マイク、観客席など、一つずつアイテムを増やしていく仕掛けをしていくと、雰囲気も盛り上がり楽しめるのではないかと伝えた。

5歳児は、前期にホワイトボードの使い方や部屋のレイアウトについて話した。後期は音楽会の練習をしていたので、どのようにホワイトボードを使っているかを見ることはできなかったが、部屋のレイアウトも少し変わっていて、うまく活用はされているのではな



いかと感じた。

音楽的なところに力を入れておられるので、いろいろな楽器の使い方も伝えた。

#### 園⑦

0・1・2歳児は、部屋が広くて棚で仕切られているので、先生方がいつも隣の部屋の声が、聞こえる等の悩みを抱えておられた。一度その棚の位置を少し変えてみたらどうかと前期に話をすると、後期はレイアウトが変わっていた。

0歳児は、玩具が充実していたので、棚の活用、玩具のアレンジなどをあと少し工夫できるよう話をした。

3歳児は、自分たちでこうしてみたいという思いをもっておられ大分工夫されていた。ただ、玩具が経年劣化で少し汚れて黒くなっていたので、次、買い換えてもらうのであれば、このクラス優先でしてもらったらと話をした。

4歳児は、前期から比べると、環境の工夫がされていて、友達と一緒に考えながらピタゴラスイッチを作り、楽しく遊ぶ姿が見られた。ままごとコーナーでは、道具の最適な数を考え準備することや遊びが広がるキッチンの配置場所、片づけ方の工夫をアドバイスした。

5歳児は、一人ずつ机と椅子がある、小学校のようなスタイルのスペースがあるので、可能であれば、部屋を遊びの部屋と、外部講師の先生が来られた時の部屋に分けたらどうかと前期に伝えたが、早朝受け入れや、学童等に使うなどの諸事情があるので、今の使い方しかできないと聞いた。

#### 園⑧

この園は手作りの玩具がふんだんにある。

0・1歳児前期は、牛乳パックを積んだ手作りの棚があったが、子どもにとっては高く、仕切りとしても向こうが見渡せない囲いのようなになっていたので、少し低くしてはどうかと伝えた。後期には仕切りも低くなり、もっとよいセクションになっていた。このクラスの先生方は本当に手作りの才能に長けていると思う。

2歳児は前期に子どもが遊びたい玩具を自分で選んで出せるような収納ができたらいとアドバイスをすると、後期には取り入れられ、子どもが好きな玩具を出し入れしながら遊ぶ姿が見られた。今

年度が1年目で、今は全体を見ることに一生懸命なので、来年度は個人を見ていけるように頑張ってもらいたいと伝えた。

3歳児は、先生が子ども達の歌のことで心配されていた。すごく大きな声で人の声を聞かずに歌っている子がいたので、保育の方法として、綺麗に歌えている子をピックアップすることや、友達の声聞きながら歌うように声かけをしてみてもいいと伝えた。

4歳児は子ども達が座る位置について話をした。先生と子ども達がうまく聞けたり話せたり伝わったりするレイアウトを考えられたらどうかと話した。子ども達に発表させていたが、先生からのフィードバックがないと、子ども達は聞き流されたように思ってしまう。フィードバックは、子ども達が言ったことを繰り返すだけでもいいという話をした。

5歳児は、前期は先生が話し合いを進めていたが、後期は子どもたちが本当に一生懸命話し合いをしていた。西脇にピザ屋ができたことで、子どもたちも先生も全員がピザを中心とした楽しい活動ができていたので、面白い保育をされていると感じた。

#### 【園小接続内容】

後期に訪問した園では、1歳児のままごとで、保育者が子どものしていることを言語化されている場面を見た。その際に、言語化することで言葉と子どもの行動が結びつくことや、「良い匂いがするね」「美味しそうだね」など子どもが感じているであろうことや、保育者が子どもに感じてほしいと思うことを言語化することで、想像力が刺激されることを伝えた。また、5歳児の遊びの中で「それはおかしい」という声を上げた子がいて、そこから、いろいろな意見を出し合う話し合いが生まれていた。互いの思いを伝え合いながら話し合いができるのは素晴らしい。5歳児でこういう姿が見られるように今後も関わってもらいたいと伝えた。

小学校も、学びが変わってきている。主体的な学びや自己決定の場を設け、その中でやり直したり、試行錯誤したりということを学びの中に入れてくようになってきている。園でも自分で遊びや、場所や、内容を決めている子達はとても生き生きとしていて、前向きであるということを今回の訪問でも見る事ができた。各園の先生方には、今されているような、子ども達が日々の中で、自己決定をしたり、自分で選んだりする機会をさらに増やして欲しいという話をどの園でもした。就学前の遊び、学びの中には個別最適な

学びや協同的な学びがたくさんあることが見つけられたので、先生方には、保育の中にそれらの学びがたくさんあることを意識し子ども達に関わって行ってほしい。

先生方の声かけによって褒められる場がたくさんできていること、異年齢のかかわりの中で自己有用感が生まれること、環境が変わると子どもの動き、活動が変わることについても話をした。園でしてきたことをしっかり聞き、小学校で良い受け入れができたらと思った。

どの園も1年目の訪問では、どういうことが小学校で必要かを意識されていたが、今年度は遊びや生活環境づくりを工夫し、園でしかできないことを意識されていた。園でしかできないことを、伸び伸び経験していくことが、小学校以降の学びにつながっていると実感できた1年間だった。

#### 【特別支援内容】

気になる園児として相談を受けるケースとして、すでに関係機関や相談につながっていてある程度アセスメントができているケース、つながっていないが保護者が子どもの困り感に気づき始めているケース、保護者は全く気づかずに園だけが気になっているケース、先生方も気づいていないが特性がある子のケースがある。先生方も気付いておられないケースの場合、小学校、中学校あたりの思春期で、もしかしたら困り感が出てくるかなということを伝えた。

保護者に困り感があるケースも、関係機関や専門家につなぎ、園として、集団でのしんどさや発達特性があるという現状を専門機関に伝えるようお願いした。相談、検査の場は、一対一の対応になると特性が現れないこともあると伝えた。

一番困るのは保護者が気づいていないケース。伝え方によっては関係がこじれていくので、園全体として伝えるのなら役割分担をして伝えてほしい。また、将来の困り感が出る段階の見通しを先生方に伝え、保護者がこちらを向かなくても小学校にはつなぎ伝えていくこと。その時に、保護者にも小学校で環境が変わることで本人がしんどくなることを園としては心配していることを伝えていくことを話した。

今年度ある園では、3～5歳児の1名ずつのケース検討を、園内研修としてやりたいとの依頼があり協力させてもらった。全員での研修は難しいが各年齢から1人ずつ出て話をしているので、似たよ

	<p>うな事例が出てきたときに気づきが早くなるのではないかと思う。</p> <p>また、先生方が疲弊しているような感じも受けて、頑張りすぎず子どもに寄り添ってできることをやるという話を各関係者からしてもらえたら良いと思って、作業療法士の方などを紹介したこともある。</p> <p>また、小学校に向けて4歳児で私が直接相談に乗り、北はりまに直接保護者をつないでくれる園も出てきた。早く動いてくれる先生が出てきたという印象を受ける。</p> <p>ここ何年か訪問する中で、困っていることが整理され始めた。精査できたり、人数や日数を調整したりしてじっくり話を聞けるようになってきたと感じている。</p>
委員長	<p>それぞれの立場から話をさせていただいたが、改めて、特別支援はこれまでの積み重ねがあった上で具体的なところが見えてきている。一方では保育の質がどんどん向上してきているということで委員会の意味があると思う。さらに今年度は、小学校との連携や接続という点もかなり進展があり、それが今年度の特色で、これまでと比べると非常に進展があったと思えた。先生方他に意見はあるか。</p>
事務局	<p>資料3 令和5年度の視察訪問アンケートについて、資料4 令和6年度の自己評価案について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料3「視察訪問アンケート」 資料4「令和6年度自己評価表」について</p>
委員長	<p>では資料3と資料4に分けてご意見をいただきたい。まず、資料4から考えたいと思う。今の事務局からの提案について意見はあるか。</p> <p>一番右の記入欄が助言内容になる点については、助言を受けたことを、改めてここに書き換え、整理していくという理解でよいか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員長	<p>そして、この前期の実施状況の横の取組の状況が『頑張っているところ・質問』になるとすると、今までの別紙での質問用紙は省くことができるという考えか。</p>

事務局	はい。
委員長	そして助言を受けて自分でどのように頑張っていこうかということがその次のところですね。 これで皆さんよろしいか。
委員	はい（挙手） 今までの感じで書いていくと混乱はないと思うが、右端に記入する後期の『助言内容』の欄が前期視察後に助言内容を書いてしまう先生がいなか少し心配だ。前期視察に行った後の助言内容は真ん中の欄に書くと思うが、この文言を見ると、前期にお伝えした助言内容が、この一番右端になってしまうような気がする。
事務局	では、『後期の』という言葉を入れるとどうか。
委員長	はい。そのように、いつ、どこの欄を書くべきなのかが明確であればいいと思う。 他に気になる点はあるか。 2番以降の教育課程の編成や安全や、地域との連携を含めて、改訂版になるということか。
委員	園小はどうなっているか。全部に「助言内容」が入るのか。
事務局	今は『取組の状況』と『方策』だけだったが、ここに助言内容を入れるか。
委員	園小の連携の助言って難しいと思う。校区連携でもやり方がいろいろある。それをどう助言するか。視察時のまとめの際には園小連携の話はあまりしていない状態だと思う。
事務局	何か一言でもと思っているが。
委員	今年度は全く行けないということはなかったが、前期行けなくて後期だけ行った園と、その逆と。前期と後期全ての園を訪問することは難しい。

事務局	2から9については、後期のみだ。
委員	後期に行けてない園もある。実際今年は後期に行けたのは4園だけだった。どちらも行ければよいが後期に8園行くのは厳しい。
事務局	先程言われたように、自分達でメモを取られていることを記入して明確化しようという目的であったが、2から9については、園長先生と主幹の先生方の記入となるため、今まで通りの方がよいか。
委員	枠があるということは、それをしていかなねばならなくなる。
委員長	では今のことを改めて整理すると、2～9に関して、実際に2回目の視察訪問後に助言内容を記入するとなると、今度は現場の負担感がどうしても生じてしまうということはあると思う。小学校との連携は、訪問できた園とできなかった園で書きぶりが変わってくるということもあるので、『助言内容』というのは2以降の項目についてはなくてもよいと思う。ここに入れた思いや願いがあると思うので、その背景があれば教えてほしい。
事務局	はい。今まで助言をいただいた上で、改良してほしいところがあり、どう捉えられているか見えたらよいと思った。今までも次年度に向けた取り組みの方策のところ助言されたことと方策を書かれる園もあったので、2から9については助言内容というところを省く方向で考えたいと思う。
委員長	はい。それでは2番以降は『助言内容』という言葉は抜いた形をお願いしたい。『次年度に向けての取り組みの方策』を書くにあたって助言を受けた場合はその部分についても少し触れてほしいとお願いするくらいでよいと思う。
事務局	はい。
委員長	では資料3につきまして、アンケートを踏まえて意見はあるか。  『子どもの変容や態度などの具体的な指導がほしい』ということだが、私はこれを見た時に至難の技だと思った。意図がよくわからな

事務局	<p>いところもあるが、『こうすれば子どもは変わるという指導』は、そんなにあるものではないと思うのでこれを書かれた先生の思いが気になる。何か聞いているか。</p> <p>ここに関しては聞き取りができていないので、現場訪問に行った時に話を聞きたいと思う。</p>
委員	<p>確かに難しく、そんな簡単に見られるものではない。指標は、子ども達の発言や表情が変わったなど、そのぐらいでしかないの、そこは記録をとってほしい。5歳児では友達の気持ちが分かったような発言が出てきたことや、ドキュメンテーション等で評価すること。例えば個別だと4月のA君の顔と今日のA君の顔を二つ並べてみると育ち（成長）が見える。自信がある顔や優しくなった顔など、経年で比較することができるかなと思う。</p>
委員長	<p>変容を捉えようと思うと、ビフォーアフターのように4月当初と年度末のような形で比べざるを得ない。何を使って比べるのは写真で表情や言葉や、ままごと遊びの様子を4月と年度末で比べることで、遊び方の違いが見える化できると思う。言語発達などの調査をしてみるというようなこともあるのかもしれないが、それは保育の質とのつながりはあまりないと思う。発達検査としての指標として提示されているものは、あくまでも保育の質ではないと思う。その辺で何か違う切り口で視点とかはありますか。</p>
委員	<p>前期と後期に行くと、クラスが変わってきていることが分かる。先生方も変わろうとしているのが見て取れるので保育が変わってきている。子どもたちが変わってきているのも見えている。ただ、先生は毎日かかわっておられるので、なかなか見えにくいということと、子どもたちにこう言えばこう変わるという魔法の言葉のようなものは基本ないと思う。子ども達がちょっとした段を超えたところが私達は前期と後期で見えるので、子ども達の力を信じることと、先生方が子ども達を成長させようということの二つの気持ちが合わさることによって、先生方自身で子どもたちの変容に気付いていくところなのではと思う。</p>
委員長	<p>はい。これは答えが出ない、まとめにくいかと思う。こちらが意</p>

事務局	<p>識できることとしては、後期の訪問で「前期に比べて子どもたち成長しましたね」とか、「保育の中身が向上しましたね」という肯定的な言葉を伝えることかなと思う。聞き取りしていただき思いを聞かせていただければと思う。</p> <p>では協議事項(2)についてお願いします。</p> <p>4 今年度事業の評価報告について</p> <p>事務局説明 資料5「自己評価報告書作成」について</p>
委員長	<p>これについて何かご意見、質問等はあるか。</p> <p>続きまして協議事項3 その他について</p>
事務局	<p>5 その他について</p> <p>事務局説明 資料6「令和6年度のスケジュール(案)」 資料7「令和6年度施策訪問希望調査(案)」 資料8「西脇市共通カリキュラム改訂(案)」</p>
委員長	<p>補足する。園長会からの要望で共通カリキュラムを作った時には、まだ10の姿が提示されていなかったもので、10の姿を入れ込んでほしいと要望があったと聞いている。しかし、文言ばかりで10の姿を入れ込んでも理解しがたいこともあるのでビジュアル化を図ってほしいと要望もあった。年長だけでなく0歳から発達の積み重なりが分かるようにしてほしいと要望もあった。これは、サンプルで5領域の「健康」についての資料である。このような形で写真1枚を真ん中に置き、『手や指を使った遊びを繰り返し楽しんでいる』というのは共通カリキュラムに含まれている文言である。領域の健康なので10の姿『健康な心と体』を重点的に最初に提示して、それ以外の10の姿もあることを周辺に載せる見せ方をしたらどうかと助言し、事務局に検討して作っていただいた。この様式で良ければ、事</p>



	<p>事務局の方で他も全部作られるということなので、まずは考え方の方向性としてこれでいいのか検討いただきたい。</p>
委員	<p>0, 1歳から10の姿を入れるのも大変だと思うが、良いと思う。作成が大変ですが、手伝ってもらうとかはないのですか。</p>
事務局	<p>今のところセンターで作っていかうと思っている。</p>
委員	<p>園小接続カリキュラムのアプローチカリキュラムは、こども園の皆さんに作成してもらったから良かったが。ご協力はしていただいても良いかもしれませんね。</p>
委員	<p>写真の選定などとても大変だが楽しみにしている。 一つ、字体（フォント）は、ユニバーサルデザインでUDフォントが良いと思う。</p>
委員長	<p>はい。ではこの方向性で進めてほしい。</p> <p>以上で議題が終了した。みなさんの円滑な審議、御意見に感謝する。進行を事務局にお返しする。</p>
事務局	<p>5 次回開催予定</p> <p>次回の会議は、令和6年4月26日（金）午後3時から予定している。</p>
教育創造 部長 事務局	<p>あいさつ</p> <p>6 閉会 以上をもって、本日の会議を終了する。</p>